

国別援助方針へのご意見募集結果
(ご意見の概要と外務省からの回答)

ご意見の概要	外務省からの回答
<p>(ベリーズ)</p> <p>環境分野について、より専門性のあるシニアボランティアや専門家の派遣を前向きに検討するべき。廃棄物管理協力について、3Rの促進等、現地産業の構築に資する取組を進め、中南米諸国への将来的な横展開も念頭に、リサイクルや産業医療廃棄物の適切な管理等の人材育成を心がけるべき。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、有り難うございました。ご意見は、弊省、JICA本部、在ジャマイカ日本大使館及び JICA ベリーズ支所にて共有いたしました。今後の案件形成の参考とさせていただきます。</p>
<p>(キューバ)</p> <p>キューバは、国連人権理事会での北朝鮮人権状況決議において、反対に票を投じたことから、キューバ自身も非人道的な行いをしている、あるいはする可能性のある国といえ、キューバへの援助そのものに反対。</p>	<p>キューバは深刻な物や資金の不足で、多くの開発課題を抱えており、我が国はこれまで草の根・人間の安全保障無償資金協力や技術協力を中心に援助を実施しています。</p> <p>今後とも、ODA大綱の援助実施の原則に基づき、開発途上国における基本的人権及び自由の保障状況等に十分注意を払い、開発途上国の援助需要、経済社会状況、二国間関係などを総合的に判断の上、援助の実施を判断していきます。</p>

以上